

令和4年度改訂版

大洗町

洪水ハザードマップ

～那珂川・涸沼川・桜川～



(R1.10.13 台風19号 大貫橋)

自らの命は自らが守る

ハザードマップの使い方

STEP ①

自宅周辺の確認

ハザードマップで自宅の周辺、想定される被害の状況を確認しましょう。

STEP ②

避難経路の確認

最寄りの避難所等を確認して、避難経路を考えてみましょう。

STEP ③

避難経路を歩く

避難経路を実際に歩いてみて、危険な場所がないか確認しましょう。問題があれば見直しをしましょう。

STEP ④

家族等との確認

家族や近所の方と災害時の連絡手段、避難先などについて確認しましょう。

お問い合わせ 大洗町役場 生活環境課

〒311-1392 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町 6881-275

電話 029-267-5111

① 防災情報を確認しましょう。テレビ・ラジオ・防災無線など



大洗町に大雨洪水による避難情報などが出ていますか？

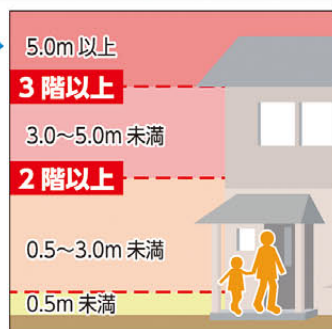
はい



② 地図を見て自宅は浸水区域内にありますか？

いいえ

はい

浸水する深さを確認
しましょう

③ 浸水の深さが建物の最上階の床の高さを上回りますか？

いいえ

はい

④ 自宅が家屋倒壊等氾濫区域(河岸浸食)内にありますか？



→河岸が浸食され倒壊するおそれがあります

はい

いいえ

⑤ 自宅が家屋倒壊等氾濫区域(氾濫流)内の木造建築ですか？



→川が氾濫した際に倒壊するおそれがあります

はい

いいえ

縁故等へ避難

- 浸水のおそれがない家族や親戚、知人の家、またはホテルに避難しましょう。
- 日頃から避難先の人と連絡をとっておきましょう。



縁故避難が難しい場合

自宅避難 (不安な場合は自宅外へ避難)

- 浸水・倒壊の危険がない、丈夫な建物に住んでいる場合は、自宅に留まりましょう。
- 1階が浸水する場合は、浸水しない階へ移動しましょう。
- 自宅での避難に備え、備蓄品を準備しておきましょう。



避難所への避難

- 日頃から非常用の持出品を用意しておきましょう。
- 可能な範囲で食料や水、タオルを持参しましょう。
- 避難所までは、可能であれば徒歩で移動しましょう。



1 災害時の持ち出し品

すぐに避難できるように、最低限の持ち出し品を準備しておきましょう。
リュックサックなどに準備しておくのがお勧めです。



- | | | | | | |
|--|---|-------------------------------------|--|---|---|
| ☐ 飲料水 (500 ml程度、1人1本ずつ) |  | ☐ 手袋 |  | ☐ 衛生用品 (マスク、消毒液) |  |
| ☐ 非常食 (ビスケット、チョコレート、
バランス栄養食品など) |  | ☐ ヘルメット | | ☐ タオル、ハンカチ | |
| ☐ 貴重品 (現金、通帳、印鑑、保険証の写しなど) | | ☐ 衣類 (上着、下着) | | ☐ 歯磨きセット |  |
| ☐ 携帯電話・スマートフォン (充電器、バッテリー) | | ☐ 雨具、防寒具 | | ☐ ティッシュ |  |
| ☐ 医療品 (おくすり手帳も) |  | ☐ 懐中電灯 |  | ☐ 生理用品 |  |
| | | ☐ 携帯ラジオ |  | ☐ _____ | |

乳 幼 児 ☐ 離乳食 ☐ 粉ミルク ☐ 液体ミルク ☐ おむつ ☐ おしりふき

妊 婦 ☐ 母子健康手帳 ☐ 脱脂綿 ☐ ガーゼ ☐ 新生児用品

高 齢 者 ☐ 入れ歯 ☐ 介護食 ☐ 大人用おむつ ☐ _____ ☐ _____

ペ ッ ト ☐ リード ☐ ゲージ ☐ 排せつ用品 ☐ ペットフード

そ の 他 ☐ 眼鏡 ☐ コンタクトレンズ ☐ 補聴器 ☐ _____



2 避難場所と経路の確認

地図を見て、自宅から
どこの避難所にどの道
を通って行くか確認し
ましょう。安全に避難
できる道なのか、確認
しておくことが大切
です。



3 避難する前に

避難する前に、親戚や
知人に何処に避難する
か伝えておきましょう。
また、電気のブレー
カーを落として、ガス
の元栓も閉めておしま
いしょう。



4 避難時の注意

動きやすい服装で、出
来れば複数人で避難し
ましょう。また、長靴
に水が入ると歩きづら
くなりますので、運動
靴を履いて避難しまし
ょう。



5 逃げ遅れたら

水が膝上まで深くな
ると歩いて避難するの
は非常に危険です。
周辺の丈夫な建物の出
来るだけ高い場所に避
難して救助を待ちま
しょう。



避難所での心構え

避難所は、多くのみなさんで共同生活をしていただくことになります。
不便な生活を余儀なくされますので、みなさんのご協力をお願いします。

受付

受付はとても**大切**です

受付で住所や氏名などの記入をお願いします。

とても**大切**な情報となりますので、ご協力をお願いします。



※ペットの避難

ペットは大切な家族です。ペットの避難に**必要な物**は、**飼い主さん自身**で用意をお願いします。



避難中

マナーを守りましょう

避難生活は不自由なことがたくさんあります。マナーを守り、みんなで**助け合っ**て災害を乗り越えましょう。

必要な物の持ち込み

町の備蓄品には限りがあります。必要なものは、可能な範囲で**持ち込む**よう心掛けましょう。

体調管理

発熱や咳など、体に異変を感じたら、**周りに知らせ**てください。
不慣れな生活ですので、体調を崩さないよう気を付けましょう。

トイレとゴミ

トイレはみんなで使いますので、きれいに使うよう心がけましょう。ゴミも出来るだけ整理して、きれいな避難所を保ちましょう。

閉鎖

帰る判断

災害情報を確認し、安全になってから帰りましょう。雨が止んでも川の水位が上昇することもありますので、注意しましょう。

身の回りの整理

帰る前に、身の回りの整理に協力をお願いします。使用した備品は、持ち帰らず返却に協力をお願いします。

マイ・タイムライン（避難行動計画）とは

災害に備えた「逃げ方」を考えておくことです。「いつ」・「誰が」・「何をするのか」を考えておくことで、災害時に慌てず行動する助けになります。

我が家のタイムライン

家

避難先（避難所、親戚宅、友人宅）

避難先までの移動手段

避難先までの移動時間

- ①避難先
- ②移動手段
- ③移動時間を考える。

注意すべきこと

避難情報など

逃げ遅れないためにやるべきこと

台風が発生
台風が接近

天気予報や
気象庁が発表する情報
に注意!!

市町村が発令する
避難情報
に注意!!

【警戒レベル1】
早期注意情報

【警戒レベル2】
大雨・洪水注意報

【警戒レベル3】
高齢者等避難発令

【警戒レベル4】
避難指示発令

【警戒レベル5】
川が氾濫

- ◆テレビやラジオで台風情報を確認する
- ◆避難先、移動手段、移動時間を再確認する
- ◆避難しやすい服装に着替える
- ◆避難するときに持っていくものを確認する（チェックする）

☐ 飲料水	☐ 食料品	☐ 着替え	☐ タオル
☐ 懐中電灯	☐ 携帯ラジオ	☐ 電池	☐ 携帯充電器
☐ 通帳など貴重品	☐ マスク	☐ ウェットティッシュ	☐

避難時の
持ち物を
考える。

◆我が家が避難するタイミングは 警戒レベル3

- ◆高齢者など避難に時間のかかる人は避難を始める
- ・どこに避難するか、家族や親戚に伝える
(連絡先の電話番号: _____)

避難の
タイミング
を考える。

点線に沿って
いずれかを
丸で囲む

◆我が家が避難するタイミングは 警戒レベル4

- ◆危険な場所から全員避難
- ・近所の人に声をかけて一緒に避難する
(声をかける相手: _____)

近所への
声かけを
考える。

避難完了!

目立つ場所に
貼ってね!

避難するタイミングを知ろう

災害発生時、町は災害の状況に応じて避難情報を発表します。

下の図を参考に**警戒レベル3**と**警戒レベル4**のどちらの状況で避難するか家族と事前に相談しておきましょう！

警戒レベル	状 況	みなさんがとるべき行動	避難情報
5	災害発生 または切迫 	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難 ~~~~~			
<b>4</b>	災害の おそれ高い 	危険な場所から 全員避難	避難指示
<b>3</b>	災害の おそれあり 	危険な場所から 高齢者などは避難	高齢者等避難
<b>2</b>	気象状況悪化 	自らの避難行動を 確認	大雨・洪水・ 高潮注意報
<b>1</b>	今後気象状況 悪化のおそれ 	災害への心構えを 高める	早期注意情報

## 緊急時の連絡先を覚えておきましょう

施設名	電話番号
火災・救急・救助の通報	119（局番なし）
警察への事件・事故の通報	110（局番なし）
大洗町消防本部	029-266-1119
大洗地区交番	029-267-0110
大洗町役場	029-267-5111
東京電力パワーグリッド株式会社	0120-995-007

台風や大雨はある程度予測できる災害です。災害情報を確認し、事前の準備を心掛けましょう。

## ● 建物などの事前準備

雨樋の掃除をする。

竿を取り込み、ベランダなどの小物を全て取り込む。

手すりが壊れていたら修理する。

古い雨戸は、飛ばされないように筋交いをつけたり、つっかい棒をあてがったりして、応急の補強をする。

浸水の危険がある場合には、大切な家財道具は二階や高い安全な場所に移動する。

屋根瓦のずれなどを補修して飛ばされないようにする。

アンテナや煙突などの補強をする。

雨戸のないガラス窓は飛来物の破損から守る工夫をする。

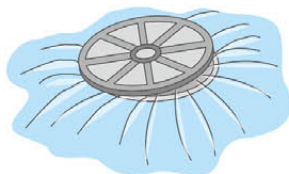
建物の周囲にある箱などを片付ける。

プロパンガスボンベはしっかり固定する。

建物の周囲にある風に飛ばされそうな物を取り込む。

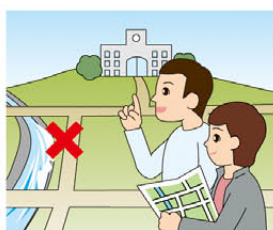
## ● 自宅周辺の危険箇所を確認

洪水時には濁水により足元が見えなくなるため、マンホールや用水路、側溝など、自宅周辺に潜む危険箇所を事前に把握するとともに、避難路を確認しておきましょう。



## ● 避難経路の確認

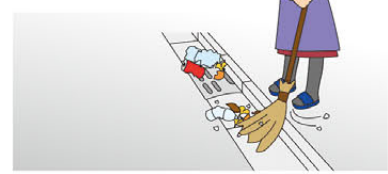
避難場所までのルートをあらかじめ決めておき、安全に通行できるかを実際に歩いて確認しておきましょう。



※外出している家族が、交通機関のマヒなどで帰宅できない場合もあります。離ればなれになってしまった場合に備え、連絡方法や避難場所・集合場所を日頃から十分話しあっておきましょう。

## ● 雨水ますや自宅周辺の清掃

側溝や雨水ますが詰まると、道路冠水や浸水の原因になるため、日頃から自宅周辺を清掃し、大きなゴミなどが道路の側溝に入らないようにしましょう。



## ● 家庭にあるものを利用して浸水防止

簡易水のうを活用して

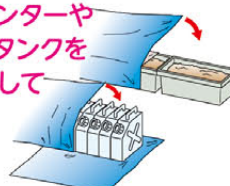


ゴミ袋を2重にして中に半分程度水を入れ、袋の口をしぼると簡易水のうができます。



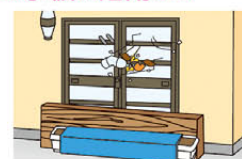
ダンボール等に入れると持ち運びに便利で、設置も簡単です。

プランターやポリタンクを活用して



プランターやポリタンクを並べてレジャーシートで包み、浸水を防ぎます。

止水板を活用して



長めの板等を利用して水のうやポリタンクと組み合わせて、浸水を防ぎます。



町内の代表的な避難場所は、**小中学校**となりますが、その他にも避難できる場所がありますので、裏面の地図を確認し、日頃から避難できる場所を**裏面**でチェックしておきましょう。

## 大洗町の主要な避難所

◇ 大 洗 小 学 校

◇ 第 一 中 学 校

◇ 南 小 学 校 ・ 南 中 学 校

◇ 大 洗 町 総 合 運 動 公 園

災害の種類  
によって、避難で  
きる場所も違うから、裏  
面の内容をしっかりと  
見ておこうね。

